

お金について自分の意見をまとめてみよう！

たくさんのモノやサービス、情報があふれる「豊かな社会」の中で、本当に必要なものを選択し、使っていくことが大切です。お金の使い方もそうです。適切な判断と行動ができる消費者になるために、将来を見越して計画的にお金と付き合えるようになりたいですね。

昨年は全国から5,312点の作品が寄せられ、20点が入賞作品に選ばれました。あなたも、自分の周りで「見たこと」「聞いたこと」「感じたこと」をもとに、自分自身の意見をまとめてみませんか。



応募の注意点

●文字数について 空白を含む1,200～2,000字(作品タイトル・学校名・学年・氏名・参考文献・出典は含みません)



原稿用紙で
書くなら

400字詰め原稿用紙
※タテ20字×ヨコ20行
4枚目3行目以上記入



パソコン原稿で
書くなら

1行20字詰め
※1枚につき30行以内

◎作品集ホームページ(<https://ron2025.j-flec.go.jp/>)にある応募用原稿用紙をご利用になることもできます。

●応募について

個人で応募する場合	・下記応募用紙に記入してください(応募用紙はコピー可)。 ・作品タイトル、氏名(ふりがな)、学校名(ふりがな)、学年、学校および自宅の住所、電話番号、FAX番号、メールアドレスを記入して作品に添付してください(応募用紙は必ず本人が記入してください)。
学校単位で応募する場合	・学校宛てにお送りしています学校専用応募用紙にてご応募ください。 (学校専用応募用紙はホームページ< https://ron2025.j-flec.go.jp/ >からダウンロードすることもできます) ・下記応募用紙(個人用)は不要です。

◎応募は未発表の作品に限ります(インターネット上での作品公開も発表とみなします)。また、二重投稿はご遠慮ください。 ◎日本語に限ります。 ◎作品は理由を問わず返却しません。

◎入賞作品の著作権・版權は主催者に帰属します。 ◎佳作の作品は公表しません。

◎作品公表の際には個別企業名や商品名に関する表記を変更させていただくことがありますので、予めご了承ください。

※応募の際は、下記個人情報の取り扱いについて保護者の方にもご確認いただいたうえでご応募ください。

個人情報の取り扱いについて●応募者の個人情報は、入賞作品の選考、入賞者への連絡のためにのみ使用し、主催者および当コンクール業務受託先が責任をもって管理します。●応募者本人または保護者の許可なく第三者に個人情報を開示することはありません。ただし、法律や法的拘束力のある命令等に基づいて開示が要求された場合については、その要求に応じることがあります。●入賞者の氏名・学校名・学年および作品の一部は、主催者ホームページにて公表させていただきますので、予めご了承ください。



キリトリ

第58回「おかねの作文」コンクール 応募用紙(個人用)

作品タイトル		
ふりがな 氏名	ふりがな 学校名	学年
立		中学校
年		
学校住所 (〒 -) 都道 市区 府県 郡		
学校電話番号 () -	学校FAX番号 () -	
※マンション、アパート名等も必ずご記入ください。		
自宅住所 (〒 -) 都道 市区 府県 郡		
電話番号(日中連絡の取れる先) () -	メールアドレス	

下記のアンケートにご協力くださいこのコンクールはどちらで知りましたか。番号を○で囲んでください。(複数回答可)

- | | | |
|-----------------|-------------------|----------------------|
| 1. チラシ・ポスター(学校) | 2. チラシ・ポスター(学校以外) | 3. 新聞・雑誌・WEB広告(媒体名) |
| 4. ホームページ | 5. 知人から | 6. 学校・先生(夏休み等の課題・宿題) |
| 7. その他 () | | |

※応募者の個人情報は当コンクール以外の用途には使用しません。

第58回

おかねの 作文コンクール

お金の知識を
あなたの力に
J-FLEC

J-FLEC(金融経済教育推進機構)は、全国の中学生を対象に

「おかねの作文」を募集します。

テーマは、「おかね」に関することであれば自由です。

ふだんの生活の中で見たこと、聞いたこと、感じたことから、

自分にとっての「おかね」について考えてみてください。

締切

9月15日

消印有効

賞

特選 5編 賞状と図書カード4万円分
金融担当大臣賞/文部科学大臣賞/日本銀行総裁賞/
日本PTA全国協議会会長賞/J-FLEC理事長賞

秀作 5編 賞状と図書カード2万円分

佳作 10編 賞状と図書カード3千円分

学校賞 5校 賞状と図書カード1万円分

特選受賞者在籍校

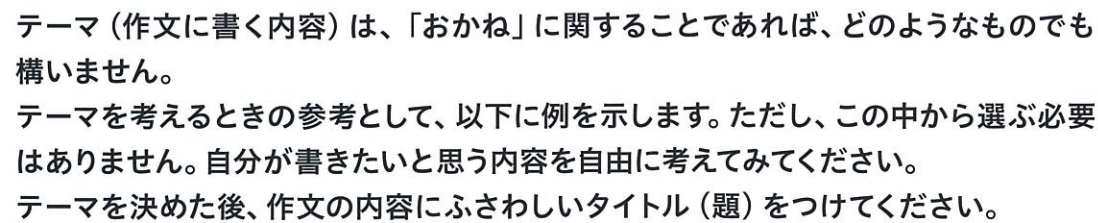
J-FLEC(ジェフレック)
金融経済教育推進機構

J-FLEC(金融経済教育推進機構)は、国民に広く金融経済教育を届けることを目的に
設立された、金融庁所管の認可法人です。

(主催) J-FLEC(金融経済教育推進機構)

(後援) 金融庁、文部科学省、日本銀行、公益社団法人日本PTA全国協議会、日本私立中学高等学校連合会、
全国都道府県教育委員会連合会、全国市町村教育委員会連合会

260



1. 将来の夢の実現とおかねの関わり

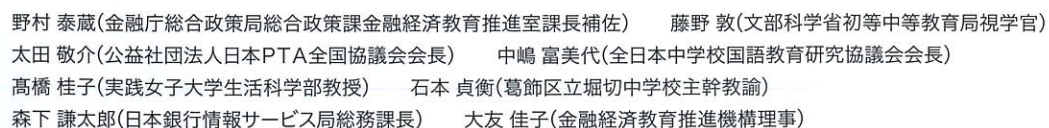
2. 私のおかねのルールやわが家の約束事

3. 活きたおかねの使い方とは

4. ニュースにみるおかね

新聞やテレビ等で報道された、おかねが関わるニュースを取り上げて、あなたが思うことを書いてみましょう。身近な地域、中学校、社会や文化、海外や世界が関係するさまざまなニュースの中で、関心を持ったニュースを探してみましょう。

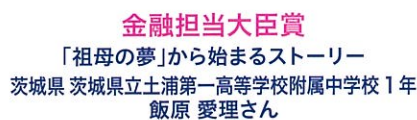
応募資格	中学生
賞	■特選 5編(賞状と図書カード4万円分) 金融担当大臣賞／文部科学大臣賞／日本銀行総裁賞／日本PTA全国協議会会長賞／J-FLEC理事長賞 ■秀作 5編(賞状と図書カード2万円分) ■佳作 10編(賞状と図書カード3千円分) ■学校賞(特選受賞者在籍校) 5校(賞状と図書カード1万円分)
締め切り	2025年9月15日(月・祝)※消印有効
発表	12月中旬頃、主催者ホームページで発表。
応募方法	郵送応募 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 5F 毎日企画サービス J-FLECコンクール事務局「おかねの作文」コンクール係 WEB応募 作品募集ホームページの応募フォームから送信してください。 https://ron2025.j-flec.go.jp/
問い合わせ先	J-FLECコンクール事務局 TEL.03-6265-6818(土・日・祝日を除く10時～17時) 作品募集ホームページ https://ron2025.j-flec.go.jp/



「金融経済教育」は、経済的に自立し、より良い生活を送るために必要なお金に関する知識や判断力（金融リテラシー）を身に付けることなどを目的としています。最低限身に付けるべき金融リテラシーは、①家計管理、②生活設計、③金融知識及び金融経済事情の理解と適切な金融商品の利用選択、④外部の知見の適切な活用、の4分野に分かれています。作文を書くにあたっては、生徒たちへ上記のテーマの例などを参考に、身の回りのお金や自分の将来に目を向け、考えたことを書くようご指導ください。



過去の入賞作品はこちらでご覧いただけます。



筆者は「娘と孫とルーブル美術館を訪れたい」という祖母の夢を叶えるため、小学1年生から貯金を開始。お年玉やお小遣いを貯めるだけでなく、家庭内リアルバトルも行う中、誰かのためにお金を貯める喜びや、旅に必要な語学の学習意欲の向上を実感し、計画実現に向けた努力を決意します。「祖母の夢を実現するために行動し、学びを得る姿が素晴らしい」と評価されました。

「株式」を通して
富山県 片山学園中学校 3年
中村 有里さん

授業の株式学習がゲームで投資に挑戦した筆者は、大きな損失を出し最下位に。「もう株はしない」と思いますが、母の勧めで再挑戦を決意し、本やニュース等で勉強して3社の株を購入。株価の上下に直面しても今度は冷静に対処できたことで、失敗を糧にする姿勢やお金の重みを学びました。「学びを実体験から学やす姿勢が素晴らしい、中学生に読んでほしい」と評価されました。

私の推し活
佐賀県 佐賀大学教育学部附属中学校 1 年
江口 琉那さん

好きなジュースの会社の株を買ってもらった筆者は、株価変動に注目する中で、国内外のニュースが株価に影響することを知り、世界とのつながりを実感。投資から企業の商品開発や設備投資、株価上昇へとつながる循環を学び、投資は日本経済を元気にする「推し活」と結論づけます。「投資の意義をわかりやすく伝え、経済全体を見据えた視点が素晴らしい」と評価されたました。

お金の価値
兵庫県 加古川市立氷丘中学校 2年
池上 由麻さん

筆者は10歳の時、プレゼントと一緒に買おうという祖母の誘いを嘘をついて断り、誕生日に現金を希望します。現金と共に届いた手紙を読み、孫を希望させたいという思いに気づいた筆者は祖母へ謝罪し、お金では買えない価値があることを実感。「何円でも大切に使いたい」と誓います。「中学生らしい率直な心情と、お金に向き合う姿が胸を打つ」と評価されました。

お金の本当の意味とは
東京都 成城中学校 3年
江口 寛冬さん

夏休みをイギリスの寮で過ごした筆者は、世界の文化やお金の価値観の違いを体感します。現地で予算のお金方を工夫する中、お金は物を買うだけでなく、経験や思い出を得る手段だと実感。帰国後、お金の価値観は多面的だと気づき、「お金は自分を成長させる羅針盤」と捉えるように、「意識の変化が中学生らしい視点で描かれ、今後の生き方にもつながっている」と評価されました。

埼玉県 富士見市立東中学校 1 年
鈴木 志野さん

静岡県 静岡市立蒲原中学校 1 年
大村 瑠袈さん

千葉県 専修大学松戸中学校 3年
王 右伊さん

大阪府 大阪教育大学附属池田中学校 3年
王 雨溪さん

大阪府 大阪教育大学附属池田中学校 3年
澤野 美菜さん

- ・本文冒頭1行目に作品タイトル、2行目に学校名、学年、氏名を記入してください。
- ・本文は3行目から始めてください。
- ・学校名が長い場合、本文は4行目(学年、氏名を記入した次の行)から記入してください。
- ・規定文字数に達しない作品は審査の対象となりません。
- ・※原稿用紙によらないパソコン原稿の場合も同様です。
- ・各ページにページ番号を記載し、右肩をホチキスで留めてください。
- ・生成AIが作成した文章をそのまま使っての応募はできません。
- ・ご応募いただいた作品が「盗用」・「生成AIによる生成物」であると認められた場合、審査の対象外となります。また、後日判明した場合は、入賞の取り消しをさせていただきます。

参考文献の明記.....

・参考にした文献(書籍、インターネット等)はすべて、作文の最終ページに必ず記入してください。記入せずに他の人の文章を使用することは「盗用」とみなされてしまうことがあります。

引用するときの注意点.....

- ・引用する文章は変更せず、かぎ括弧をつけて自分の文章と明確に区別したうえで、作文の最終ページに必ず出典を記載してください。
- ・かぎ括弧や出典の記載をせずに、インターネット等で入手した他の人の文章を書き写して作文を作成することは「盗用」とみなされてしまうことがありますので、注意しましょう。

本文冒頭の記入方法

○1行目 作品タイトル
○2行目 学校名、学年、氏名
○3行目 本文



参考文献・出典の記入方法

〈最終ページ〉
書籍の場合

○枚目○行目(応募作品中該当箇所)、著者名、書籍名、
出版社名、出版年、参照または引用したページ
インターネットの場合
○枚目○行目(応募作品中該当箇所)、著者名、タイトル
URL 閲覧日



(出典の記入例)



必ず見てね!



作文を書くときの
ポイントと注意点をまとめました。
応募の前に必ずチェックしてください。